

# 広島への子ども派遣事業、5年ぶりに復活

「被爆の実態を学び、伝えたい」

市内小学6年生代表が広島平和記念式典へ

8月6日の広島平和記念式典に甲賀市の子どもたちが参加し、戦争の悲惨さと平和の尊さを学ぶ「広島平和記念事業」が5年ぶりに復活しました。今年は、市内小学校6年生15名が参加しました。

5日の朝、その出発式が市役所ロビーで行われました。正木副市長が激励、子どもたちの代表が「市内小学6年生の代表として



5日朝、市役所で行われた出発式

被爆の実態、恐ろしさを学び、伝えていきたい」と挨拶されました。

この事業は、旧水口町の時代から続けられてきた甲賀市にとって誇るべき事業です。コロナ禍のもとしばらく中断されましたが、昨年は再開が期待されたにもかかわらず、予算が計上されなかつたため、日本共産党や立憲民主党など党派を超えた議員、また市民や市内の平和団体などが何年度も市に復活を要望しました。昨年度は、復活は叶いませんでしたが、今年度予算が計上され、子どもたちの広島への派遣事業が5年ぶりに復活となりました。

今回の事業へは市内の小学6年生より42名の応募がありましたが、抽選により15名が参加されることになりました。子どもたち15名と引率の6名は、5日は原爆ドームや広島平和記念資料館などを見学、6日朝8時からの平和広島記念式典に参列、ひろしま子ども平和の集いにも参加されました。18日に開かれる市の行事「語り継ぐ平和への思い」では、参加した子どもたちの代表が感想文を発表されます。

## 滋賀県反核平和連絡会自治体訪問



県内で平和運動に取り組む団体で構成されている滋賀県反核平和連絡会が1日、甲賀市を訪問。市から「反核平和都市宣言」に基づく平和施策の内容などの説明を受け、懇談しました。

広島平和記念事業について、14校より42名の応募があったが、児童の安全を考慮し、抽選で15名の参加となったとの説明でした。懇談のなかでは参加者から、市内の21の小学校全校より参加できるように、今後は定員を増やすよう要望がありました。

また、中学校の修学旅行は、6校中5校が沖繩に、1校が長崎で平和学習を兼ねるとのことでした。懇談には、日本共産党より山岡光広・西山実議員も同席しました。

## 「道の駅ふくしま」を視察

市議会産業建設常任委員会は7月29日、「道の駅ふくしま」を訪問し、地域振興を視察しました。特徴は、地元の人材、組織の活用、地域商品の販売、特に桃をはじめとした果物に力を入れているとのことでした。令和5年度の売上は13億円を超えとのこと。道の駅に防災機能を加え、屋内子どもの遊び場としてキッズパークを併設。年間7万1千人の利用があるそうです。また翌30日は岩手県柴波町を訪問しオガールプロジェクトについて学びました。

甲賀市では現在「道の駅あいの土山」の新築工事（再整備）が行われています。来年の4月頃完成予定です。（西山実）



日本共産党

甲賀市議員団ニュース

2024年 8月 11日 第506号



山岡 光広  
甲南町森尻 16  
Tel 86-2985  
Fax 86-0415



岡田 重美  
土山町南土山甲 78-15  
Tel 66-0696  
Fax 66-0696



西山 実  
水口町本丸 3-28  
Tel 62-3044  
Fax 62-3044